

①2024年度 外国語学部

PLAN(計画) →2024年4月までに		DO(実施)	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。		D:計画を実行しその効果を測定する。	
<p>1. 定員の充足</p> <p>①定員確保のための募集戦略 KPI:定員180名確保 志願者数増加800名以上(前年度実績579名) -引き続き、OCの充実化、広報強化、SNSを利用し、学部教育を発信 -年内入試のさらなる強化、留学生入試 KPI:年内入試割合85%以上 -入学前教育強化</p>		<p>実施できた。 95%以上</p>	
<p>2. 除籍・退学率改善</p> <p>KPI:3.5%(前年度4.2%) -1年次・2年次指導の強化(履修指導、面談) -全学年面談 -配慮学生指導強化 -留年率削減</p>		<p>ほぼ実施できた。 90%以上</p>	
<p>3. 教育カリキュラムの強化</p> <p>①新DPIに基づくDP到達度のチェック体制確立 ②2024年度新カリ科目の振り返りと改善点整理 ③時間割大枠に基づく科目配置や教員配置徹底 ④プログラム制の本格的な運用 ⑤ジョークース、eポートフォリオの活用強化</p>		<p>ほぼ実施できた。 80%以上</p>	
<p>4. 国際交流・グローバル教育の強化</p> <p>①留学派遣・受入れの強化 ②留学派遣・受入れの強化 海外留学、LUJ国内留学、国内フィールドワーク、海外フィールドワーク、国際連携教育プログラムへの参加者を増やす。 ③LUJとの協体制の強化 イベント(プレゼン大会、OC、文京祭)での協力、LU本校との交流、交換留学など打診 ④キャンパス内での国際交流 校内での留学生交流会、チャットラウンジ</p>		<p>ほぼ実施できた。 90%以上</p>	
<p>5. キャリア教育</p> <p>-内定率、実就職率の向上 KPI:内定率100%(前年度3/31現在93.8%) -実就職率90%以上(前年度3/31現在83%) -キャリアデザインの運用と振り返り -キャリアイベントの学生への周知徹底</p>		<p>ほぼ実施できた。 90%以上</p>	
<p>6. 組織・教員間の連携・コミュニケーション強化</p> <p>①各委員会の連携強化: -OC運用、入試、新カリ運用において連携を図る。 ②教職センターと学部との連携強化 -教職生指導の連携 -情報共有の強化</p>		<p>ほぼ実施できた。 90%以上</p>	

CHECK(評価)	
C:目標とそれの実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。	
<p>評価</p> <p>実施結果:①OCの来場者数が15%増加した。②定員確保ができた(185名)。</p>	<p>評価の理由/課題/根拠データ等</p>
<p>実施結果:退学・除籍35名(4.97%)</p>	
<p>実施結果:③④以外の項目において計画通りに進んだ。</p>	<p>③については、プログラム制への学生の参加度が低かった④については、実施時期が2年後であることもあり、議論が具体化しなかった。</p>
<p>実施結果:すべての項目において概ね計画通りに進んだ。</p>	<p>※留学派遣者数 海外留学:アメリカ12名、オーストラリア7名、韓国1名、中国5名、マレーシア1名、NZ5名、タイ3名、 海外フィールドワーク派遣:韓国21名、カナダ4名、LUJ国内留学(夏)3名、春1名、 ※留学生受入 台湾2名、中国4名 国際連携教育プログラム受入:18名</p>
<p>実施結果:すべての項目において概ね計画通りに進んだ。</p>	<p>内定率については、2024/4/1現在94.1%で昨年同期93.8%を上回っている。 実就職率も85.2%で昨年同期83.0%を上回っている。 ②キャリア教育の強化については、学生の多様なキャリア形成に役立つため必須科目のキャリアデザインの単位数や配置を改めた。 ③キャリアイベントの周知方法としては、Teams以外にゼミ内で紙を配る方法を兼用した。</p>
<p>実施結果:ハラスメントや多様な背景を持つ学生への指導などに関するFDを開き教員間ディスカッションを行った。また、OCも全教員協力体制で積極的に参加した。</p>	

ACITON(次への改善)	
A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる	
<p>①入試業務・出張講義など業務分担の適正化を図る。 ②指定校格のさらなる拡大を検討 ③年内確保のため総合型入試のブラッシュアップ・見直しを図る。 ④引き続きOCの内容強化⑤入学目録の充実化</p>	
特に1年次の退学者を減らすための対策が必要である。初年次・2年次教育や学生面談など教員側ができることを徹底する。	
<p>②2024年度新カリ科目の振り返りと改善点整理と関連しては、正確な推知データをもとに今後振り返りをする必要がある。 ③プログラム制については、学生への周知徹底と今後学部の教育方針と合わせながら運用面での改善策を練る必要がある。 ④eポートフォリオについては、FDを実施</p>	
<p>① 留学派遣・受入れの強化 海外留学、LUJ国内留学、国内フィールドワーク、海外フィールドワーク、国際連携教育プログラムへの参加者を増やす。 ② LUJとの協体制の強化 イベント(プレゼン大会、OC、文京祭)での協力、LU本校との交流、交換留学など打診 ③キャンパス内での国際交流、校内での留学生交流会、チャットラウンジ</p>	
<p>ゼミの先生方と連携し、学生の動きを把握し内定獲得まで個別支援を継続する。 就活の早期化に対応して、また3年生を対象とした「就職活動に関するアンケート」を実施し、アンケート結果を基に今後のキャリア支援に活かしていく。</p>	
変化する教育環境に対応できるよう、学部の教育方針を固める必要がある。そのための議論を続ける。	

①2025年度 外国語学部

PLAN(計画) →2025年4月までに	
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	
<p>1. 収容定員の充足を満たす募集戦略 KPI:定員180名確保(今年度入学者185名) (2) 志願者数増加 650 名以上(前年度実績554名) (3) 引き続きOCの充実化、広報強化、SNSを利用して学部教育を発信 (4) 年内入試のさらなる強化、留学生入試 KPI:年内入試割合85%以上 (5) 併設校からの入学者増に向けた検討 (6) 入学前教育の強化継続</p>	
<p>2. 除籍・退学率改善</p> <p>KPI:3.5%(前年度4.97%) (1) 1年次・2年次指導の強化(履修指導、面談) (2) 全学年面談 (3) 配慮学生への指導強化 (4) 留年率削減</p>	
<p>3. 学部教育の強化</p> <p>(1) 2024年度新カリ科目の振り返りと改善点整理 (2) 3年次ESPの見直し (3) 時間割大枠に基づく科目配置および教員配置徹底 (4) プログラム制の運用と見直し (5) ジョークース、eポートフォリオの活用強化</p>	
<p>4. 国際交流・グローバル教育の強化</p> <p>(1) 留学派遣・受入れの強化 海外留学、LUJ国内留学、国内フィールドワーク、海外フィールドワーク、国際連携教育プログラムへの参加者を増やすための検討 (2) LUJとの協体制の強化 イベント(プレゼン大会、OC、文京祭)での協力、LU本校との交流、交換留学など打診 (3) キャンパス内での国際交流 校内での留学生交流会、チャットラウンジ</p>	
<p>5. キャリア教育・出口戦略</p> <p>(1) 内定率、実就職率の向上 KPI:内定率100%(前年度94.1%) -実就職率90%以上(前年度85.2%) (2) キャリア関連イベントの周知</p>	
<p>6. 出口戦略の強化</p> <p>(1) 社会・地域との連携 -「キャリアデザイン」の運用と振り返り -「学校インターンシップ」の運用と振り返り (2) LUJとの連携 -英語と日本語を使った地域連携プログラムの検討</p>	